

福祉まつり参加

12月8日（日）、銚子市市民センターにおいて、第29回銚子市福祉まつり（主催：銚子市福祉まつり実行委員会、銚子市ボランティア連絡協議会）が開催されました。

しおさいは、パン・クッキー類及び布製品の販売を行った他、今回は、しおさいメンバーが中心となった合唱を披露しました。

式典終了後の午前10時10分に販売が開始されると、多くの市民が訪れました。しおさいのブースにもお客様が大勢来て下さり、気に入ったパンやクッキー類を買い求めて行かれました。お蔭様で、用意した約400個のパン類は、1時間半程で完売してしまいました。また、布製品は手提げバッグや毛糸で作った人形などを持って行きましたが、いつもの年に増して売れ行きが良く、たくさん購入して頂きました。ありがとうございました。

そして黒潮会（家族会）の方々も、蒸し餃子の販売を行いました。こちらも大好評のうちに完売しました。

■発表会へ出演

販売の合間には、ホールで行われた発表会へ福祉まつり参加メンバー全員が出演し、この日のために1か月以上練習をしてきた「翼をください」と「明日があるさ」の2曲を歌いました。

しおさいは三崎と春日の2か所で作業を行っているため、合同で練習する時間があまり取れず、どうなることかと心配しましたが、本番では指揮を担当したメンバーのKさんが、ホール内の市民にも“一緒に～”と声をかけて促したこともあり、会場の皆さんと一緒に歌いました。



指揮のKさん



パン・クッキー類を販売中



蒸し餃子の販売



布製品の販売ブース



合唱中のメンバー&職員

交流餅つき大会開催

12月20日（金）、しおさい春日・のぞみの中庭で、ナルク銚子主催による「交流餅つき大会」が開催されました。

■ 交流会

ナルク銚子会員のオカリナ演奏により、クリスマスや正月にちなんだ歌を歌いました。その後、のぞみのOさんによるキンキキッズの曲に合わせたソロダンス（途中からしおさいメンバー2人のエアギターが加わり、面白いコラボとなりました！）と、のぞみのメンバーによるゴールデンボンバーの「女々しくて」の踊りが行われ、続いてしおさいのメンバーが、福祉まつりでも披露した「翼をください」を歌いました。また、ジャンケン大会では、勝ち残った人が素晴らしい？景品をもらっていました。



■ 餅つき大会

交流会に続いての餅つき大会では、しおさいやのぞみのメンバーも代わる代わる杵（きね）で餅をつきました。つき上がった餅は、雑煮（ぞうじ）、あんこ餅、大根おろしのからみ餅にして、美味しく頂きました。ナルク銚子の皆さん、ありがとうございました。



編集後記

あけましておめでとうございませす

先月、銚子市で事業仕分けが行われました。私たちがお世話になっている障害福祉課関係では5つの事業が評価対象となっていました。このうちグループホーム等家賃補助関係事業など4事業については、市民判定人が「銚子市要改善」という結果を出しましたが、重度心身障害者福祉年金事業（対象障害者に年1回2万円支給）は、仕分け人と市民判定人の両方が「不要・凍結」という結果を出しました。この事業は、銚子市が昭和50年から東総地域で唯一実施しているもので、受給障害者は大変助かっています。障害者の実状を良く理解及び把握していないのでは…と思われる健常者の方々が出した結果なのである意味仕方ないのかもしれませんが、とても納得出来るものではありません。折に触れて意見交換をさせて頂いているある市議会議員にはメールでその思いを伝えました。これが最終結果ではないとのことですので、財政が厳しいとは言え、このまま“廃止”されることのないように、市長や議会には、賢明な判断をして頂きたいと願っています。